2025. 7. 25

児童養護施設
ホザナ園後援会

ホザナ園だより

No.173

後援会事務所
〒336-0918
さいたま市緑区松木1-16-20
TEL（048）873－9216
振　替　00160-2-19387
会　長　横　山　基　生
https://hozanaen.or.jp/

新理事長としての思い

ホザナ園後援会会長　横山　基生

この4月からホザナ園の理事長に新しく就任いたしました。現在埼玉県志木市にある日本キリスト教団志木教会の牧師と附属泉幼稚園の園長の働きに従事しています。私の名前から想像がつくと思いますが、二代目理事長の義孝の長男です。ホザナ園には叔父叔母が関わっていたこともあり、幼い時から親しみを持っていました。

私が五才頃に、祖父のところに父と一緒に出向いたとき、ホザナ園のお兄さんが私にカブトムシを捕ってくださったことを覚えています。聖学院高校時代に、学校の仲間数人とホザナ園を訪問し、子ども達と遊ぶ機会がありました。幼児の男の子と遊んでいたとき、急に「おしっこ」と言われ、どのようにすべきか迷いつつ、何とか子どもを抱いて用をさせたことがありました。小さい子ども達は、訪問客に近づいてきますが、高学年の子ども達とは、全く関わることが出来ませんでした。その後、私は埼玉大学教育学部、東京聖書学校での学びを経て淀橋教会に赴任し牧師伝道師としての訓練を受けさせていただきました。

その後主の導きで英国と米国での六年間の留学、欧州での在外邦人伝道に従事しました。2006年に帰国し、東京新生教会に八年間。2014年から現在の立場になります。しばらくホザナ園から離れていた者ですが、昨年四月から父に代わって理事に就任しました。もう少し慣れてからと考えていましたが、この四月から摂理の内に理事長としてホザナ園の働きに具体的に従事させていただくことになった次第です。

ホザナ園の理事となることで気づかされたことは、私が想像していたよりも、児童養護施設を取り巻く状況が大きく変化してきているということでした。入所してくる子ども達の状況、行政の養護施設に対する指導、社会一般の方々の養護施設を観る目等、私としてまず知らなくてはならないことが、多岐にわたることを知りました。また、子ども達の健やかな成長のために、以前に比べると専門職のスタッフの方々も多く、若い世代のスタッフ方がチームとして積極的に考え労してくださっている姿に感動を覚えています。

当園は、初代理事長の願いの下、ホザナ園と命名され、キリスト教精神を基として子ども達の健やかな成長に仕えることがビジョンとして掲げられてきました。ホザナとは「今、救いたまえ」という意味ですが、主イエス・キリストが十字架に架けられることになるエルサレムに入城するときに、人々が主イエスに対して発した喜び迎える言葉でもあります。ホザナ園の運営方針に理念が記され、「『愛の児童』となるように養育する」とあります。他者を愛する者となるために、愛の交わりの中に生かされることが求められます。ホザナ園という生活共同体が、豊かな愛にさらに満たされるようにと祈っています。

私は幼稚園の園長として地域の子育てに関わらせていただいています。保護者と保育者と子ども達による生き生きとしたコミュニティー形成が、子どもにとっても大人にとってもとても大切であることを気づかされています。また、在園のときばかりでなく卒業後も関わりを継続的に持つことによって、共に生かされる恵みに与えられることを体験してきています。児童養護施設「ホザナ園」の理事長として取り組むべきことが多くあると思います。今までの私自身の歩みを通して得られた見識などを用いて、また現在現場で心を込めて子ども達と共に歩んでくださっているスタッフの方々と共に、時代のニーズに応えつつ、生ける神様の愛の交わりの中で、ホザナ園の歩みが祝され続けるために理事長として仕えさせていただきたいと心から願っています。

（日本基督教団志木教会牧師）

横山義孝　故人略歴

●1926年(大正15)10月18日 東京都大井立会町で、父・英男、母・サメの三男二女の長男として生まれる。1938年(昭和13)埼玉県立熊谷中学(旧制)に入学、卒業後東京明治工業専門学校電気科に入学、1943年(昭和18)4月 海軍対潜学校に入学し海軍予備生となり、浦賀で終戦まで訓練を受ける。

●1945年(昭和20)12月に沢村五郎師を招いての戦後最初の聖会で献身へと導かれ教会献身を経て、1947年4月に神戸神学院(現関西聖書神学校)入学。沢村五郎師、本田弘慈師の薫陶を受ける。1946年(昭和21)8月父・英男が大宮駅から戦争孤児を自宅に招きホザナ園活動を開始。長男としてこの働きに生涯積極的に関わることとなる。

●1950年(昭和25)3月 浦和別所教会担任教師に就任し、直ちに京浜東北線川口駅前で開拓伝道を開始、4月には川口栄町伝道所を開設。1952年(昭和27)伝道は祝され、伝道所が第二種教会川口本町教会となる。

●1953年(昭和28)5月 日本イエス・キリスト教団教師田中静子と結婚。一男二女が与えられる。

●1960年(昭和35)3月13日礼拝説教中に聖霊の注ぎを豊かに受け、さらに力と愛に満ちた牧会伝道に邁進することとなる。1964年(昭和39)12月川口市青木町に新会堂が与えられ第一種西川口教会となる。1975年(昭和50)父・英男の召天を受け、ホザナ園の理事長となる。

●1980年(昭和55)に東京聖書学校が東久留米市に移転し、宿直での東京聖書学校の舎監の務めが始まる。1981年4月 舎監寮に引越。1982年(昭和57)4月西川口教会を辞任し、東京聖書学校の舎監としての働きに妻と共に専念する。

●1988年(昭和63)東京聖書学校内に黒目氷川台伝道所の開設式が行われ、念願の伝道牧会活動が本格化。正式な認可は1990年。1993年(平成5)4月東久留米市野火止に土地を得て新会堂が完成し、東京新生教会となる。

●2008年5月英国から帰国し、OMF日本委員会総主事代行となっていた長男夫婦が、東京新生教会の主任・担任教師に就任し、第一戦を退いていく歩みを始める。2010年隠退教師となった後も、東京新生教会に関わり続け、様々な困難な時期に教会員を励まし続けた。2022年には当教会の名誉牧師となる。

●2018年2月には、自らの伝道者生涯をまとめた本「恩寵溢れる歩み」を自費出版した。2023年11月6日福音功労賞をいただく。東京新生教会や天門教会での礼拝説教奉仕の準備を熱心にし、散歩を2月頃まで定期的にしていた。一日も欠かさず書いていた日記が2月18日で途切れ、3月10日が最後となり、4月16日の午前、苦しむことなく平安の内に98才と6ヶ月の生涯を全うし、主の許に感謝のうちに凱旋した。

お礼と感謝

父義孝の突然の召天の報に、驚かれた方も多かったことと思います。亡くなる直前の4月13日の聖日礼拝は、送迎の助けを得つつ東京新生教会で守ることができました。15日(火)には長女勝よの腕に身を委ねつつ、自宅前の廊下を20m程歩きました。しかし、今までとは異なり足取りがとても重たいものになっていました。この夜から衰えが急激に進んだようで、ベッドに寝つつも目を覚ますことなく、翌日午前中に息が止まり、駆け足で天の主の許に凱旋することとなりました。闘病することなく、苦しむことなく、平安の内に98才6ヶ月の地上の生涯を全うできたことに本人はとても満足しているだろうと家族は話しています。

父は、19才で直接伝道に献身して、23才で伝道牧会者として歩み始め、70年以上福音宣教に励むことができました。この間多くの諸先輩の先生方に助けられ励まされつつ、日々祈り、御言葉に親しみ、いつも新しいことにチャレンジしてきました。90才頃から様々な面に弱さを覚えつつ、説教の機会が与えられることを喜び、その準備に勤しんでいました。以前から耳が遠くなっていたこともあり、徐々に認知力が落ち、粗相することも増え、ご迷惑をお掛けすることも多くなりました。そのような中にあっても、皆さんに温かく迎えていただき、東京新生教会と天門教会での礼拝に出席し続けることができ、本当に幸いでした。

母静子も同じ年齢で、肉体的には弱さを多々覚えつつも、認知力はそれほど衰えていないことは、大きな感謝です。清瀬の都営住宅に今後も住み続けます。清瀬信愛の園でのデイケアーサービスを楽しみつつ、さらに主の証し人としての歩みを続けることと思います。

お手紙・メール等もたくさんいただきました。このことを通して、残された家族は大変励まされました。父が生涯を通じていかに多くの人々の人生に愛をもって関わってきたかを知ることができ、主の御前に生涯忠実であった父を誇りに感じています。

多くの方々からお花料をいただきました。キリスト教会での葬儀ではお花料はお断りすることが多くなってきていますが、私たちは積極的に感謝して受け、葬儀に関わる費用を除き、与えられたものは全て東京聖書学校に献金させていただきます。父にとって地上の生涯で行う最後の献金となると思います。献金することが好きで喜びであった父に相応しいと導かれ、家族で相談し、このようにさせていただきました。

残された私たちは、父の信仰の遺産をしっかりと受け取り、それを用いてそれぞれの持ち場で、主の福音宣教にさらに勤しみたいと願っています。今後とも、主にある交わりをよろしくお願いいたします。

横山義孝先生との関わり

ホザナ園施設長　内田　伴之

横山義孝元理事長は、2025年4月16日（水）午前7時に老衰のためご逝去されました。98歳と約6か月という年齢でした。亡くなる前日夜まで会話も生活もなされていたとのことです。95歳までは理事長としてホザナ園を代表し、97歳まで理事としてお働きいただきました。その後も顧問としてホザナ園の運営に携わっていただき、大変感謝をしております。

ホザナ園イースター礼拝（2019年4月）

私と横山義孝元理事長（以後義孝先生と言います）との関係は、伯父と甥の関係にあたります。私の母が義孝先生の妹です。そういうわけで、生まれた時から関係があったわけですが、義孝先生は、若いころから牧師としても活躍されていて、私の物心ついた頃には牧師としていわゆる油の乗った時期であったと思っております。ですから、伯父と甥の関係だけではなく、「牧師先生」としてのイメージが一番強くありました。その頃はまだホザナ園との関わりは理事としてのかかわりのみであったと思います。1975年（昭和50年）に初代理事長横山英男先生から、理事長を交代し、新理事長として義孝先生が着任されました。当時の私はまだ学生でありましたので、伯父と甥の関係以上のものではありませんでしたが、私の父が1973年からホザナ園の施設長をしていた関係で、義孝先生のお名前を多く聞くことになりました。その後私もホザナ園に児童指導員として就職し、理事長と職員としての関わりはありました。しかし本格的な関わりとしては、私がホザナ園の施設長として就任した1997年から現在までの約28年間、施設長および理事に就任したての私に叱咤激励をいただき、何とかここまで頑張ってこれたと思っております。義孝先生があるとき、「私は死ぬまで理事長を続ける」とおっしゃっていたことを思い出しました。理事としては97歳まで続けていただき、その後も顧問としてクリスマスやイースターなど行事があるたびにホザナ園に来てくださり、お声をかけていただきました。まさしく亡くなるまでホザナ園と一緒にいて下さったと思います。理事長と牧師というある意味「2足の草鞋」を長年続けてこられて、しかも2023年11月には日本福音振興会より、「日本福音功労賞」を授与され、長きに亘る福音伝道を表彰されるほど、日本でも一目置かれるほどの牧師先生であり、お忙しい状況だったにも関わらずホザナ園の事もいつも気にかけていただきました。

理事を退かれる決意をなされたのは、現理事長であり、ご子息でもある横山基生牧師先生が理事に就任することになったからです。それまでは文字通り「死んでもやめない」という思いがあったのではないでしょうか。本当にホザナ園に掛ける思いには頭が下がります。そもそも義孝先生はホザナ園の創立にも深くかかわっておられ、創立当初は児童指導員として、子どもたちと生活を共にし、子どもたちの「思い」を常に汲んできた方でありますから、最後の最後まで子どもたちの事を思い続けてくださったのだと理解しています。ある意味義孝先生が中心で創られたホザナ園が、今後ますます子どもたちのための施設として用いられるために、現在現役として働いている私たちに天の国からアドバイスをいただかなくてはいけません。これからもお力をお貸しください。義孝先生、長い間本当にありがとうございました。

横山義孝先生を偲んで

ホザナ園後援会幹事　濱田　京子

先生に最後にお会いしたのは、昨年12月6日、東京聖書学校学生クリスマス礼拝でした。先生が礼拝説教をされるので是非とも先生のお説教を聞きたいとの思いで参加しました。社会派の事を話され私の疑問に思っていたことがわかり、参加して良かったと神様のお導きに感謝いたしました。

先生との接点は、ホザナ園後援会でした。年に三回の役員会があり先生は顧問として来られ同席しました。会の終わりのお祈りは先生が担当されました。

「ハレルヤ‼主よ、感謝申し上げます」とのフレーズで始まり、神様への賛美、感謝、ホザナ園や、私たちへの祝福を力強く祈ってくださり、温かい安らぎの内に心満たされ感謝でした。

往年の先生の功績、偉業に関しては、詳しくは存じ上げないのですが、先生の著書「恩寵溢れる歩み」の中

に先生が築いてこられた大きな働きを知ることができました。

恵まれない子ども達を救い、子ども達の未来の為の養育に尽力されました。ホザナ園の施設にあたっては並大抵の苦労ではなかったと思います。ご自分の人生をかけて多くの子ども達の人生を導いてこられました。先生の存在は、社会的にも偉大だったのです。

先生の牧師としての姿勢には頭が下がり、尊敬できる方でした。生涯を神様と共に歩まれ、人々を愛し、何事にも愛をもって歩んでこられた方でした。

「恩寵溢れる歩み」から多くを学びました。この大切な一冊を、信仰の指針、人生の指針として、私の愛蔵書として大切にし、神様と共に歩んでいける者となる事を心から願い祈っています。

先生の平安を心よりお祈り申し上げます。

感　謝

ホザナ園後援会主事　山本　純子

横山義孝先生と奥様の静子先生にお会いしたのは今から40年程前、ご夫妻が浦和別所教会の協力牧師の時でした。その後、私は、義孝先生から洗礼を受け、毎週取り次いでくださった御言葉によって、一歩一歩前に進むことができ、信仰生活を続けることができました。

その数10年後、後援会前主事（浦和別所教会員）から声を掛けて頂き、今こうしてホザナ園後援会の主事としてこの任に就いております。今年13年目を迎えます。

横山義孝先生は二代目ホザナ園の理事長として長きに亘り、大きな荷を負ってホザナ園を支えてくださり広いお心をもって導いてくださいました。

毎年、年末募金を発行する際の「要覧」「趣意書」「賛助会員宛挨拶状」等の主旨を役員会の時に話し合います。その原稿を理事長にも書いて頂いておりましたが、毎回、原稿締め切り前に送って下さり、とても有難かったです。またいつも頂くお手紙には「ご労苦感謝申上げます。」と必ずこのお言葉を添えてくださり恐縮しつつ、その温かさと励ましを感じておりました。

2024年3月（97歳5ケ月）の役員会の時が、ご自宅からおひとりで来られた最後でした。ホザナ園に来られる時は、大きなリュックをしょって東浦和駅まで来られ、迎えの車で来園されておりました。会議の時にはお耳が遠かったので、大きなヘッドホンを付け、会を進めて話をする者がマイクを回し、先生とのコミュニケーションをとっておりました。途中、目をつむっておられる時もありましたが、それでも、会議の閉会の祈りの時はとても大きなお声で、先ず、子ども達、職員の方、支えて下さっている後援会員の方々に対し、温かいお言葉で、感謝に満ちた祈りを心から祈っておられたのを思いだします。最後の「アーメン」の「ア・ー」は大きな声でのばして言われ、「メ・ン」は言葉強く閉じるのが印象深く残っております。

義孝先生が生前、最後に言葉を交わされたのは、静子先生と伺い、共に歩んで来られた70数年のご夫妻の道のりも神様から祝されたことを強く感じました。

横山先生ご夫妻と出会えたことを心より感謝申し上げます。

2025年度　職員人事

《採　用》

▼村山　佳菜さん

4年制大学新卒で、児童指導員としての採用です。在学中にもホザナ園の行事に参加してくれました。明るくしっかりしていて、子どもたちとの関係性も上手につくっています。大変なことも多いですが、頑張ってください。

▼滝本　翔仁さん

4年制大学新卒で保育士としての採用です。在学中にもホザナ園の行事に参加してくれました。物腰は柔らかいですが、芯のしっかりした方です。持ち前の明るさで頑張って下さい。

四季折々（春～初夏）

ホザナ園施設長　内田　伴之

☆「埼玉県社会的養護を考える会」と「一般社団法人コンパスナビ」主催の「子どもキャンプ（長瀞げんきプラザ）」に、埼玉県を中心とした九つの児童養護施設から、希望した児童が参加し、職員、スタッフの方々と共に自然の中で充実した楽しいひと時を過ごしました。スタッフの皆様ありがとうございました。（二月二一日～二四日）

☆公立高校の入試が行われ（二月二六日）、合格発表があり、無事合格！通信制高校や特別支援学校高等部なども希望通り合格致しました。みんなよく頑張りました。おめでとう！　（三月六日他）

☆東京ガスネットワーク（株）様より、「キッザニア東京」にご招待いただき、児童七名、職員七名が参加させて頂きました。楽しみながら職業、社会体験することができました。園内で使えるフードチケットもいただき、園内で食事もさせて頂きました。ご招待ありがとうございました。　（三月一九日）

☆「認定ＮＰＯ法人水のフォルム」様より、今年度も継続して手植えによる田植え体験をさせていただきました。また、四月四日には水のフォルム企画「私のまちに流れる水」作文コンクールに参加。くるる調査隊として下水道について調べ作文にまとめました。ご褒美として「荒川～東京湾 - 隅田川クルーズ」にご招待いただきました。これは、荒川下流河川事務所様のご厚意によるもので、サクラ満開の中、初めてのクルーズにドキドキしながらも楽しみました。ご招待ありがとうございました。　（三月～六月）

☆中・高等学校で卒業式が執り行われました。目標の進学先もそれぞれ決まり、三月二十五日には、各ホームで卒業を祝う会も開かれました。頑張った経験が次につながるといいですね。みんなおめでとう！※今年、小学校卒業の児童はいませんでした。　（三月一三日他）

☆今年度採用職員の方の、入職式を執り行いました。今回の採用者は二名です。頑張って欲しいと思います。　（四月一日）

☆一般社団法人「笑顔プラス」様より、いちご狩りにご招待頂き、児童十六名、職員四名が参加させて頂きました。初めて見る美味しい品種のいちごをたくさん頂き、まさにみんなに笑顔がプラスされました♪ご招待ありがとうございました。　（四月四日）

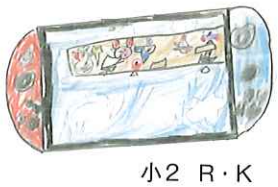
☆幼稚園、小学校、高等学校で入学式が行われました。幼稚園生、小学生は新しい友達をたくさん作って欲しいですね。四月二一日には、各ホームで入学を祝う会も開かれました。高校生はその先の未来を見つけるためにこの三年間を大切にして欲しいです。みんな入学おめでとう！　（四月八日他）

☆浦和別所教会の「イースター祝会」に参加しました。教会ではお昼ご飯にカレーをいただき、デザートもたくさん食べ、その後イースターエッグ探しもしました。お土産ももらって、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。　（四月二〇日）

☆メソニック子ども祭りにご招待頂きました。毎年恒例（コロナ禍は除く）です。東京タワーの下のメソニックビルの駐車場が会場で、東京を中心とした児童養護施設の子どもたちが招待されています。アメリカンなＢＢＱなどの出店があって、美味しく楽しく過ごしました。ご招待ありがとうございました。　（五月一一日）

☆以前より、浦和中ロータリークラブ様より、子ども達に体験型のご招待を受けており、楽しく過ごさせて頂いておりましたが、今回「浦和中ロータリークラブ三五周年」記念式典に施設長がお招き頂き、さらにご寄付も頂きました。日頃の感謝と伴にこの度のご招待もありがとうございました。　（五月三一日）

小5　H・A



小2　R・K

《退　職》

▼吉田　玲奈さん

14年間臨床心理士としての勤務をされました。途中産休期間もありましたが、職員へのアドバイスや、子どもたちのメンタル面の相談など、職員や子どもたちとの関わりを深く持っていただきました。今回は家庭の都合により退職となりましたが、今後もご活躍されることを願っております。お疲れさまでした。

▼鎌倉　愛さん

5年間保育士として勤務されました、子どもたちが好きで、明るく元気な方でした。3年目からはリーダーを務めていただき、ホームでの中心として活躍されました。これからも保育士として活躍なさる予定ですが、ホザナ園で得た経験を新たな職場で活かしていただけたらと思います。頑張って下さい。

作文

小1　U・K

出かけたこと

小五　H・S（女子）

四月にクルージングに行きました。風がすずしかったです。船に乗る人たちが最初に集まる建物に魚もいました。かわいかったです。五月にメソニックに行きました。フランクフルトと綿あめ、かき氷、りんごあめ、いちごあめ、アイス、ポップコーンを食べました。おいしかったです。ほかに、まとあて、輪投げもしました。また、行きたいです。

五月中旬くらいからアゲハチョウのいも虫を飼いました。レモンのはっぱをたくさん食べてさなぎになりましたそして六月八日にアゲハチョウになりました。うれしかったです。（前にも二回飼ったことがあります。

中学二年生になって

中二　R・N（男子）

僕は中学二年生になって新しい中学一年生が入って来たり、勉強や部活、覚えることが増えてきました。そして今日は自分の部活の試合がありました。三年生は最後の活動なのでとても頑張っていました。だけど、決勝リーグのところで負けてしまって残念な形となってしまって、悲しかったです。来年も多分あるので、三年生の思いを受け継いで頑張ろうと思います。

頑張ろう

中三　M・Y（女子）

最近学校に行けるようになりました。でも、短い時間しか行けないけど、少しずつ、少しずつがんばっています。

そろそろ修学旅行です。楽しみなことが多いです　私は修学旅行に一度も行ったことがありません。…なので楽しみです。これから学校も頑張り、勉強もし、受験生として頑張ろうと思います。

高校生

高一　I・T（男子）

高校生になり身の回りの変化が大きくなりましたがそれに慣れていければと思います。

レポートや学校の出席規定回数に届かなくても、頑張ってやっていきたいです。友人もかなり増え、かなり楽しいです。今後は今よりもっと友人を増やしたいです。

得意なこと

高一　T・S（男子）

六月七日高校で体育祭がありました。もうとにかく日差しが暑かったです。それでも他の同級生や先輩方は皆、気合がでていて僕も頑張らないと、と思いました。高校入学してから二か月くらい経ちました。最初は上手くやっていけるかと不安になっていたのですが先輩方の教え方が優しいし他の同級生も思いやりのある人しかいなくて、僕はとても安心しました。めちゃくちゃ大変であろう高校生活、最後までやり切っていきたいです。

高校二年生になって

高二　M・T（女子）

今年の四月から高校二年生になりました。昨年入学したばかりなのにもう二年生になってしまいとてもびっくりです。（あと一年半しかない……）ですが、二年生になっても楽しく過ごしています。去年クラスが一緒で仲良くなった子とまた同じクラスになれました。うれしい！

私の学校は二年生から現場実習というものが始まります。学年クラスの皆が抜けたり、帰ってきたり、私も六月中に三日間、実習が入っています。とてもドキドキします。緊張もします。でも、将来のためにも頑張って行ってきます。先に待っている楽しみなことのためにも‼　頑張ります。

今学校で楽しいことは、プールです。プールは大好きです。

時間の流れが早いです

高三　Y・S（女子）

ついに高三になって、あとは半年後くらいには卒業で時間の流れは早いなと思いました。高三になって部活も引退だし、進路を決めなきゃいけなくて大変な時期だけど頑張っていきたいと思います。

先月は陸上大会があり、陸上と水泳はやりたい人ができる感じで、三週間ぐらいしか、練習がなかったけど本番では一〇〇メートル走、県内六位に入賞することができ、賞状も貰えると思っていなかったのですごく嬉しかったです。

進路では私は飲食店を希望していて先月の下旬にスタバの面接があり練習は二回ぐらいしかしていないけど無事に、実習前の面接を通ることが出来ました。小さいころからスタバにあこがれていて夢に向かって少しずつ進んできているので、これからの実習も頑張りたいと思います。

2024年度　多機能型センター積立金報告

収　入	金　額
前年度繰越金	41,608,794
寄付金(個人14名、法人1件)	303,000
利息	772
2024年度多機能型センター繰入金	1,005,000
次年度繰越金	42,917,566
合　計	42,917,566

2024年度　卒園者支援会計報告

収　入	金　額
前年度繰越金	3,869,010
寄付金(25名・集会1件)	725,000
2024年度繰入金	1,700,000
仮受金	20,000
利息	2,031
合　計	6,316,041

2024年度　育英基金会計報告

収　入	金　額
前年度繰越金	20,683,066
寄付金　(個人53名・教会3件・集会1件・法人3件)延144件	2,170,000
利息	707
仮受金	35,000
合　計	22,888,773

支　出	金　額
入学金他（1名）	260,000
前期・後期授業料(2名)	2,205,000
振込手数料	3,520
次年度繰越金	20,420,253
合　計	22,888,773

2024年度　後援会会計決算報告

収入の部

科　目	2024年度予算	2024年度決算
個人会費	1,600,000	1,407,700
法人会費	500,000	150,000
寄付金	4,500,000	5,463,612
貯金利子		840
仮受金		55,000
小　計	6,600,000	7,077,152
繰越金	147,306	147,306
合　計	6,747,306	7,224,458

支出の部

科　目	2024年度予算	2024年度決算
多機能型センター	1,000,000	1,005,000
援助費	1,700,000	1,200,000
卒園者支援金	1,000,000	1,700,000
通信費	650,000	687,622
印刷費	750,000	643,420
交通費	35,000	23,000
消耗品費	140,000	112,150
会議費	3,000	3,000
年末募金費	30,000	30,000
租税公課		200
主事費	900,000	900,000
備品費	150,000	128,538
雑費	130,000	92,111
アフタケア費	90,000	90,000
予備費	169,306	0
小　計	6,747,306	6,615,041
繰越金		609,417
合　計	6,747,306	7,224,458

2025年　総会報告

ホザナ園後援会の総会は五月十九日(月)に開催致しました。出席者は七名(うち一名はリモートにて)。

一、二〇二四年度事業報告並びに決算の承認
・年末募金の送付先、納付状況並びに新規納入者等の報告。

二、二〇二五年度事業計画並びに予算の審議
・収入予算額は二〇二四年度決算額に準じた金額とした。
・ホザナ園便り一七三号(七月)、一七四号(十一月)、一七五号(三月)発行予定。予定部数は、ほぼ前年度と同数を予定。ホザナ園が対外的にこの園だよりを活用する為、今年度よりカラー印刷で発行予定。その為、印刷費を増額。
・通信費は物価上昇の為増額。備品費、消耗品費は前々年度と同じにもどす。雑費で計上していた振込手数料は科目を新設。支出予算額のアフタケア費は今年度一名の予定。
・年末募金の趣意書、要覧の作成及び発送については十一月を予定。発行部数は、未定(前年度見直し検討)。

三、多機能型センター建設積立金会計の承認
・一五件の指定寄付があり感謝。

四、二〇二四年度育英基金会計報告の承認
・二〇二四年度は育英基金から大学進学希望者一名の大学入学金。二名の前期授業料、及び前年度卒園者の後期授業料の援助ができました。

五、二〇二四年度卒園者支援会計報告の承認。
・二六件の指定寄付を頂き本会計から一〇〇万円振替致しました。

六、その他
・以上議題一、二、三、四、五の会計監査報告後、一括承認されました。
・川田愉会長が辞任され、それに伴い横山基生理事が後任として、理事長兼後援会長として引継がれました。また、吉田久夫監事から辞任の意向があり承認。四月に逝去されました横山義孝名誉顧問を偲び、園だより一七三号は特別号として発行予定。

◎後援会費並びに
寄付金納入者御芳名
2025年3月～6月(順不同・敬称略)
金額 二、〇九〇、六二八円

会員・一般
相場敏江、朝熊純一、伊藤継俊、大金久典、大久保美佐男、加藤恵美子、川島明美、川俣茂、儀福範雄、貴村かたる、小池良雄、逆井直樹、佐々木清美、佐々木正、椎名富夫、白石貴子、鈴木昭博、菅原進、髙柳圭伸、田部井大作、遠山優里、鵠巣香穂利、中田光一、中田知子、西山勇・水江、長谷川文彦、萩原雅恵、深瀬克、古屋桂子、水田眞佐子、美野田悟、本重光孝、本橋睦夫、森﨑健二、山川文敏、山田充広・称子、吉田久夫、金田佐久子、青木早苗、稲穂政子、石田一郎・弥生、浦部千恵子、小口千明、大川進、川田愉、川田順子、熊谷芳江、白水三千代、皆川時男、山本孝惠、原嶋和夫、篠原照美、澤田石秀晴、西海満希子、石田美由紀、井戸上彰・絵里、上原りえ子、金井俊子、栗原初音、篠崎紀代子、嶋崎健太郎・早苗、鈴木嗣子、沼田芳行・基子、濱田京子、吉原将文、匿名希望(二名) 山本純子

法人・教会・他
浦和中ロータリークラブ、秩父石灰工業㈱、宇都宮上町教会教会学校、小川イエス福音教会、小野田修道院、小松川教会教会学校、蒲田教会、交野教会、志木教会婦人会、下谷教会、静岡草深教会、渋谷教会、全日本ローア福音教会、草加教会、高松修道院、田園調布教会、東京シオン教会、トラピスト修道院、東調布教会、洛陽教会、淀橋教会、浦和別所教会

保育園・幼稚園・学校
聖ミカエル幼稚園、東洋英和女学院中高部宗教委員会、学校法人母の会

◎多機能型センター献金者御芳名
2025年3月～6月(順不同・敬称略)
金額 二二七、〇八一円
大屋稔、髙柳圭伸、藤田純子、古屋桂子、増山律子、吉田久夫

◎育英基金献金者御芳名
2025年3月～6月(順不同・敬称略)
金額 三五三、〇三九円
ヒソプの会、浦和別所教会婦人会、S・KUROKAWA、牛込達彦、佐々木正、鈴木桂子、髙柳圭伸、鵠巣香穂利、中田知子、野島博・まどか、馬場元毅、古屋桂子、牧 甫、増山律子、松井千夏、吉田久夫、匿名希望、山本純子

◎卒園者支援献金者御芳名
2025年3月～6月(順不同・敬称略)
金額 五七〇、〇〇〇円
牛込達彦、川田順子、髙柳圭伸、鵠巣香穂利、野島博・まどか、馬場元毅、藤田純子、古屋桂子、本田耕一郎、牧 甫、増山律子、松井千夏、吉田久夫、匿名希望

◎ボランティア来訪者御芳名
2025年3月～6月(順不同・敬称略)
㈱銀座(散髪)、認定こども園母の会(保育室のお掃除)

◎御招待等
2025年3月～6月(順不同・敬称略)
水のフォルム(田植え・クルージング)、笑顔プラス(いちご狩り)、日本グランド・ロッジ(メソニック子どもまつり)、キッザニア(東京ガスネットワーク㈱)

◎物品寄贈等
認定こども園母の会(手作り袋)、関東学院小学校(児童の御言葉入り手作りカード)、㈱スプリングス(卒園児はんこ)、㈲オノダ(お菓子段ボール一箱、ハンドソープ他)、㈱博愛社(おもちゃ・菓子パン・お菓子・りんご)、㈱チュチュアンナ1%クラブ(靴下)、今井千恵子(書籍)菊地(ボールペン・消しゴム・修正テープ)小林理(出版された本)坂入純一(お菓子)、佐々木清美(かりんとう)、篠村康夫(卒園生へ万年筆・クレパス)白石貴子(写真立て48個、本他)、高石一哉(ヘルメット42個)、高橋健太郎(米・書籍)、M・T(トイレットペーパー・歯ブラシ他)、長谷川(野菜)、福島利方(布団一式)森田幸江(文具・靴・タオル・服)、山城謙(文具等)、匿名二名(ラスク・バームクーヘン)

子ども達のために働いてみませんか？

ただ今ホザナ園では、子ども達の生活援助全般を共にしてくださるスタッフ、また、食事も作ってくださるスタッフを募集しています。保育士や児童指導員・社会福祉士等の資格をお持ちの方、経験者または、福祉に関心がある方、どうぞご連絡ください！

【雇用形態】正職または非常勤
【条件】勤務時間、その他の条件等応相談です。どうぞお気軽にお問合せください。
【お問合せ】電話 048-873-9216 (平日 9:00～18:00 担当：施設長内田まで)
【HP】http://hozanaen.or.jp ホームページを是非ご覧ください！

ご連絡お待ちしております!!

編集後記

今回からカラー印刷にて発行を、予定しておりましたこの園だよりではありますが、図らずも二代目理事長横山義孝師の追悼特別号をここに掲載できましたことを感謝申し上げます。

山本純子